

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/11/1 ～2018/11/30)

1. 勉学の状況

今月を振り返ると、英語の授業が全て10月で終了していたので、授業数としては少なかったのですが、なかなか忙しかったように感じます。

◎ Guide to Finnish Education

オンラインでフィンランドの教育について基礎的な情報を学んでいくものです。自分はスポーツ以外にも教育に興味があるので、地元の学校をいくつか見学に行ったりしています。その上で、基礎的な情報が頭に入っていることは、自分の理解の助けになることがあります。ただ見るだけではわからないものもたくさんあり、背景知識の重要性を日々感じています。

◎ Planning and Implementation of sports event

スポーツイベントを立ち上げ、運営まで行う過程で、イベントプランニングのノウハウを学んでいく授業です。実際に11月30日にフロアボールトーナメントのイベントを行い、無事に終了しました。この授業を通して、初めて多国籍な中で一つのプロジェクトを実行するという経験をしました。こういう中に入ると、何もできない自分に落胆したり、意見を押し通せない弱さを感じたり、計画全体が不透明なままに進行していくことに不安を覚えたり、それでも助けてくれる仲間がいたり、自分にとって初めての感情や状況に数多く直面しました。まだまだ、勉強も経験も足りてないことを改めて感じ、本当に価値のある授業だったと思います。

実はこの授業には、イベントだけではなく Book Exam というものがあります。これは指定された本 (Torkildsen's sport and leisure management) の300ページくらいの範囲を読んで、記述式のテストを受けるというものです。時間はかかりましたが、内容は興味がある分野だったので勉強になりました。

◎ Sport and Leisure Management

この授業は、スポーツの余暇的な活用に注目して、スポーツツーリズムなど様々な講義を受けます。最終的には、Peurunka という近くにある複合型スポーツ施設の利用者増加のための改善案をチームで考え、プレゼンして終了になります。この授業は院生の学生が多く少しレベルが高いように感じています。

2. 生活の状況

気候

こちらはかなり寒くなってきました。気温は高くても0℃、氷点下が当たり前になってきました。しかし、風があまりないせいか気温の割にといった感じではあります。日照時間もだんだん短くなってきていて、朝は9時半くらいに日が上り、昼の2時半には日が沈みます。さらにほぼ毎日曇っているため、日の光を浴びることができません。夜が長く不思議な感覚ではありますが、体調を崩すことなどはなく元気に過ごしています。

アイスホッケー

僕はもともとスポーツが好きだったので、ここフィンランドにきて新しくアイスホッケーというものに出会いました。今は、週末に地元クラブの試合を見に行くことが一つの楽しみになっています。フィンランドでは唯一のチームスポーツの完全プロが成り立っている競技でもあり、その人気ぶりはアリーナに行くによくわかります。普段、街にはあまり人がいないイメージですが、週末の試合になると地元のアリーナに多くの人が詰め掛け、毎回行くたびに人の多さに驚きます。アイスホッケーは氷上スポーツなので展開が早い上に、激しいコンタクトスポーツでもあり、見ていて興奮します。こういった新しいスポーツとの出会いはスポーツを勉強している自分にとって貴重な経験になっています。

トビタテ留学 JAPAN について

自分はこの留学において、トビタテ留学 JAPAN というプログラムから奨学金を頂いています。トビタテとは日本から海外に出て行く留学生の増加を促進するプログラムで、官民協働で行われているものです。とは言っても、奨学金は全て支援企業さんからの寄付によって出ているので、国の税金から出ているわけではありません。自分が留学を通して学びたいことを、留学計画として書類で提出し、その後、書類が通れば、個人面接、留学計画のプレゼンと進んでいきます。このプログラムの良さは、留学計画の書類作成から始まっています。書類作成時にこれまでの自分を振り返ったり、留学を通して何を学び、将来にどう活かしていくのかということを中心に深く考えさせられます。そして、書類が通ると二次審査の時には、いろんな分野の面白い人たちと繋がることができ、刺激的な経験をすることができます。概要はこんな感じです。自分の留学計画の内容については次回触れようと思います。



珍しく日が出ていたので散歩しました



アイスホッケー